

**市民広聴会「まちづくりエリアミーティング（第1回）」**  
**意見交換内容まとめ（概要）**

< テーマ > 市政全般

日時	令和4年4月24日（日）10時～11時30分
会場	地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里
出席者	市長、参加者35名

回答については、当日の意見交換内容に加え、市の今後の対応予定等も記載しています。

参加者意見	回答
<p>&lt; 花と緑あふれるまちについて &gt;            市民と共に花と緑のあふれるまちにすることを提案する。</p> <p>台北の柯文哲市長が行った「田園城市計画」を参考にまちづくりをしてはどうか。岡崎市の山間部に倒木伐採があるので積極的に木製プランタとして利用して実現させたい。それから、殿橋から明代橋の浚渫土砂を利用して花や野菜などの栽培を行うのはどうか。</p> <p>&lt; 姉妹都市交流について &gt;            花と緑あふれるまちづくりをきっかけに台北市と岡崎市が姉妹都市になることを期待している。</p>	<p>&lt; 花と緑あふれるまちについて &gt;            「田園城市計画」を拝見させていただきました。「食べられる景観づくり」は興味深い取組で、参考になりました。</p> <p>岡崎市を花と緑のあふれるまちにすることは、暮らしの質や都市の魅力の向上、自然環境の保全、地域愛の醸成などにつながる取り組みです。市民の方と協働して進めることで、市民の皆様にも共感や納得感をもっていただくことができ、これまで以上に「暮らしを楽しむまち」として、市民の方から「選ばれる都市」の実現にも資すると考えます。</p> <p>農業の振興、また、野菜を育てて収穫し、食べることは食育推進にも繋がりますので、そういった面でも参考とさせていただきたいと思えます。</p> <p>現状では、地元町内会からの申請に基づき、市有地を町内会に貸付して地域の花壇にして管理していたり、公園愛護運営会の活動で花や作物を育てるプランターを設置する活動もあります。</p> <p>木製製品の促進についても、森林整備ビジョンを策定し、関係者と連携し</p>

	<p>て利用促進に向けた取り組みを行っていますので、いただいた御意見は、関係者と連携し行っていく上での参考とさせていただきます。</p> <p>&lt; 姉妹都市交流について &gt;</p> <p>海外の都市との交流は、双方の市民や団体などにより築かれている草の根レベルの相互信頼関係や、またそれを全市民に広げ発展させる気運の盛り上がりなどをきっかけに、姉妹・友好、あるいは何らかの個別テーマによる提携へと発展していくと考えます。いただいたご意見を参考とさせていただきますたいと思います。</p>
<p>&lt; 循環バスの創設について &gt;</p> <p>市内の循環バスがなくなってしまったので、運転免許証を返納したかたが移動手段として活用できるようなバス路線が欲しい。西三河地区では刈谷市、安城市、高浜市、知立市、東浦町では大人 1 回乗車 100 円などの定額の路線バスがある。また、電光掲示板やインターネット検索で到着時間を確認できるなど便利にバスを利用できる環境を作ってほしい。</p> <p>カーボンニュートラルの面でも環境に良い燃料を使用したバスの運行を行ってはどうか。その際には名鉄バスや運送業者との連携が必要かと思うので、民間業者とも連携を。</p>	<p>&lt; 循環バスの創設について &gt;</p> <p>岡崎市は他の市と違い、名鉄バスの路線が多く走っており、市民の足となっているため、現時点において公共施設の連絡・循環バスの創設は考えておりません。市としては名鉄バスの路線を維持するため、補助金を交付しています。現状がニーズと合っていないとなると、例えば、市が多額の補助金を出している名鉄バスの路線を廃止し、その代わりに市独自の交通体系を新設することも考えられますが、今ある路線をなくすということは難しい状況です。</p> <p>循環バス創設の予定はありませんが、地域内交通の導入は地域ごとに検討可能です。地域内交通導入の実証実験を行っているのが、六ツ美中部学区の「チョイソコおかざき」というプロジェクトです。このプロジェクトを成功させ他の地域にも展開することがニーズにあった公共交通を作ることにつながると考えています。ぜひ「チョイソコおかざき」を六ツ美中部学区の地域の皆様に活用してほしいと思います。</p> <p>今年度、岡崎市地域公共交通計画を策定しました。路線を増やしても要望に沿っていないものであれば、使われなくなってしまうので、まずは地域で設置する検討協議会にて公共交通への要望等について協議していただき、市としても検討協議会の取り組みを全面的にバックアップするという仕組み</p>

	<p>を計画の中に作りました。実例として矢作地域では検討協議会にて協議した内容による新たな移動手段を10月以降にテスト的に走らせる予定です。</p> <p>新しい公共交通を作ったら多くのかたに利用していただくことが重要です。ある程度採算が見込めないと路線を維持できないからです。長期的に採算が取れる形を模索しながら、進めていく予定です。まずは地域で検討協議会を作っていたら、市と一緒に計画作りを進めることから始めていただければ、ニーズに沿った公共交通の導入が可能ではと考えています。</p>
<p>&lt;エリアミーティングの市政報告について&gt;</p> <p>市政報告の10の寅年ビジョンは1年を通して岡崎がどんな姿になっていくかを説明いただくとわかりやすいと思う。デジタル社会の推進であれば、現状と課題を明示し、デジタル社会の推進の必要性和市の活動を示し、その結果、市民の暮らしがどうなるかの説明が欲しかった。</p> <p>定性的な表現が多く、数字が見にくかった。渋滞解消の事例では、定量的な数値があると事業の効果がわかりやすかった。</p>	<p>&lt;エリアミーティングの市政報告について&gt;</p> <p>本市のデジタル化推進については、令和4年3月策定の「おかざきDXビジョン」に基づき取り組んでいるところです。</p> <p>本ビジョンにおいては、デジタル技術を活用して市民の利便性を高めることが課題であり、今年度中に、国の示す子育て・介護等の27手続についてマイナンバーカードを用いた電子申請ができるよう取り組んでまいります。あわせて、地域活動を効率的に行っていただけるよう、高齢者向けのスマホ講習会の開催なども予定しております。</p> <p>市政報告の資料への御意見については、次回以降の参考にさせていただきます。</p>
<p>&lt;マンション管理適正化推進計画について&gt;</p> <p>国土交通省がマンション管理の適正化の推進に関する法律を改正し、マンションの管理計画認定制度がスタートした。自治体がマンション管理適正化推進計画を策定することになった。令和4年4月1日に施行されたが、岡崎市側に推進計画がない状態。法が整備されても、市の受け口がないので、申請ができずきちんと管理しているという認定も受けられない。行政として、制度を整備し、申請ができる体制を整えてほしい。</p>	<p>&lt;マンション管理適正化推進計画について&gt;</p> <p>本年4月の「マンション管理の適正化の推進に関する法律(いわゆるマン管法)」施行に合わせ、愛知県により「市町村のための計画作成ガイドライン」が策定されました。本市では、当ガイドラインを踏まえつつ、各種調査及び検討を重ねた上で今年度中の計画作成を目指してまいります。</p>

<p>&lt; 防災防犯協会及び災害防ぎょ隊名簿の登録について &gt;</p> <p>今まで防災防犯協会及び災害防ぎょ隊名簿に合同で組織する管理組合の名前も記載していたが、防災用品の補助申請を行った際に、町防災防犯協会及び災害防ぎょ隊を管理組合と合同で組織することは認められないと言われた。町内会と管理組合が合同で組織できるようにしてほしい。</p>	<p>&lt; 防災防犯協会及び災害防ぎょ隊名簿の登録について &gt;</p> <p>補助金交付要綱に記載のあるとおり、補助金の対象となる自主防災組織は「町内会」または「小学校区を単位として組織された団体」のことであり、今回の管理組合のケースは町内会とは明らかに別団体であり、自主防災組織とは認め難い状況です。そのため、町内会単位での申請をお願いいたします。</p>
<p>&lt; 外国籍のかたへの対応について &gt;</p> <p>外国籍の住民が増えている。行政の対応が冷たいと感じる。説明が分かりづらく理解ができないことが多い。外国籍のかたにも親切な行政になってほしい。</p>	<p>&lt; 外国籍のかたへの対応について &gt;</p> <p>外国籍のかたについて今後しっかり対応します。</p> <p>市役所では外国人市民への多言語対応として、本庁（東庁舎 2 階）の多様性社会推進課に通訳員を配置しています。対応している言語はポルトガル語、フィリピン語、英語、中国語の 4 言語です。また、タブレット端末通訳サービスも導入しており、上記 4 言語のほか、スペイン語、韓国語、タイ語、ベトナム語、フランス語、ネパール語、ヒンディー語、ロシア語、インドネシア語、クメール語の 14 言語に対応しています。さらに、図書館交流プラザりぶらにある国際交流センターにはベトナム語、スペイン語、英語の通訳を配置しています。</p> <p>これらの通訳と端末を市役所内の窓口で活用することにより、外国人市民からの行政手続相談等に対応しています。対応できる言語や時間に限りはありますが、これらのサービスを状況に応じてご利用いただければ幸いです。</p>
<p>&lt; 南公園リニューアルについて &gt;</p> <p>南公園のリニューアルが完了したら、屋根付きの多目的広場をどのように利用できるのか。グラウンドゴルフで利用できるのか。</p>	<p>&lt; 南公園リニューアルについて &gt;</p> <p>南公園の再整備に関して、仕様や広さ、運用など詳細は今後検討していきます。</p>

<生活満足度日本一について>

生活満足度日本一を目指すという説明があったが、それを図る指標はあるのか。あるなら、他の中核市と比べて岡崎市がどの位置にあるのか、また、いつまでに成し遂げる予定なのかを教えてください。

<生活満足度日本一について>

生活満足度日本一を測るためには、他自治体と比較をした相対評価をする必要がありますが、今現在、全国の自治体を同一基準日に同一方法で調査した公的な指標・達成予定時期の設定はございません。

市民の方が市政にどれだけ満足されているかは個人の主観によるところですが、その満足の度合いをアンケート調査によって数値化し、客観的に評価できるよう可視化したものとして、本市では2～3年に1度市民意識調査を実施し市政の満足度を測っています。

令和3年に実施した調査では、「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方の割合が88.7%であり、多くの市民の方から住みよさについて肯定的な評価をいただきました。

今後も市民の方に満足していただける市政の実現を目指してまいります。

(了)